



樋口社長

「リジョン」と呼ぶDCの設置エリアを首都圏と関西圏に設定。早ければ2月に国内初となる自前DCを東西で開設する予定だ。

顧客データを自前DCに持つこと

MSは「ウィンドウズ・アジュール」と呼ぶ、サービス基盤を土台にクラウド事業を展開している。国内では富士通との協業により、2011年から富士通のDCからアジュールのDCからアジュール

自前サービスを提供

立のソフトを適用した映像システム以外では閲覧・編集できない。映像を管理するデジタイズセンター外に編集などを目的に持ち出す場合でも情報漏えいや不正利用などのリスクが回避できる。

また暗号化されていない映像データとほぼ同等の速度で編集処理がで

クラウドで協業

さくらインターネット

さくらインターネットと日本マイクロソフト(MS)はネットワーク経由で利用できるクラウドサービスで協業する。さくらインターネットが提供する専用サーバとクラウドのサービス基盤にMSが11月に投入した「ウィンドウズサーバ2012 R2」を採用した。

さくらインターネットはこれまでUNIXやオープンソース(無償公開・改変自由)ソフトを中心にウェブサービス企業向けにサービス提供してきた。ウィンドウズ環境への対応では第一弾として、専用サーバとクラウドでウィンドウズサーバ2012 R2を提供。14年春には仮想化基盤の「ウィンドウズサーバR2ハイパーV」にも対応する。

三菱電機 電子機器組立で全社大会

また当日になって初めて課題内容が公開されるため、対応力や思考力も問われる。人材開発センターの八木俊憲ものづくり教室長は「大会に出ると、製品が何か不具合があった場合に判断し、対策できるスキルを伸ばせる」と、今後の現場での活躍に期待を寄せた。

同大会はトップレベルの技能者育成や技能伝承などを目的に1977年から始まり、今年で36回目。計10職種108人が日頃の訓練の成果を披露する。12月20日には同社本社で表彰式を開く。

向けに位置情報

コモ、来年サービス提供

「ヒス」かんたん位置情報サービスを2014年1月下旬から提供する

間て実証環境を整えられ。効果を実証した上で本番環境に移行すれば無駄な投資も省けるとい

ビッグデータは13年の「ユーキャン新語・流行語大賞」の候補語にも選ばれたという。時流に乗り遅れない、とばかりにデータ活用を検討する企業も増えそうだ。こうした初心者にも門戸を広げ、手厚い支援を打ち出すことも市場の拡大には欠かせない。ビッグデータ事業の強化をめぐりTサービス各社にとって重要な取り組みといえるだろう。

仕様のサービスを提供してきたが、東西DCの新設を契機に協業方式ではなく、グローバル標準に基づく自前サービスを提供する。

顧客データを自前DCに持つこと

MSは「ウィンドウズ・アジュール」と呼ぶ、サービス基盤を土台にクラウド事業を展開している。国内では富士通との協業により、2011年から富士通のDCからアジュールのDCからアジュール

日立ソリューションズは21日、韓国のIT企業であるワイズネット(ソウル市)と販売代理店契約を締結したと発表した。22日から企業内情報検索製品を発売する。導入支援から周辺システムや運用管理ソフトとの連携まで一元的に提供する。価格は315万円からで、導入支援とシステム構築は個別見積もり。今回、発売する製品は多様なファイル形式に対応し、既存システムを改修せずに利用できる。幅広い業種でのシステム構築経験や業務知識を組み合わせ、企業内情報の活用を支援する。また企業内情報検索システムの構築だけでなく複数業務システムをデータ検索・マッチングで連携させるなどさまざまな用途を提案する。

ワイズネットの企業内情報検索製品はグローバルで1800社以上の企業への導入実績がある。

SASUMO

ステンレスモーター

平成25年3月販売開始!

http://www.stainlessmotor-japan.com

サビに強く 省エネ型

HACCP対応・トップランナー規制対応

ヘルール仕様のハンディポンプも販売開始!!

株式会社 ジャパンエコテック

静岡県浜松市北区初生町314番地の13 TEL.053-430-5557 FAX.053-430-5558

高品質・高効率な食品生産を支える 食品産業関連機器と技術

PR

設備の進化で食に安心を

食品産業は不況の影響を受けにくい分野といわれる。事実リーマン・ショック以降も比較的落ち込みは目立たず、設備メーカーによる新製品の導入意欲も衰えなかったという。この背景には食品産業ならではの理由がある。それは食品産業の絶対条件が安全であるからだ。例えば機械設備に大きな不具合がなくても、少しづつスクラッチが付くことがあっても、そこに雑菌が付着する恐れもあり、これらのトラブルの種類を減らすためにも、食品加工機械は早め早めに設備を更新する傾向が強い。コストがかかっても安全には代えられないというのが、食品メーカーの一般的な考えである。また、食品メーカーは設備更新の際、機能の強化や、さらなる効率化を図ることが多く、新製品への感心が高い。顧客のニーズに対応していくうちに、必然的にカテゴリーは拡大中だ。

現在、欧米で普及している。

1. 鉄・アルミ製のモーターが抱えていた水ぬれ

・結露などによるさびや腐食、水洗浄不可という問題を解決。非常に衛生的で、HACCPへの対応や厳格な衛生管理が必要となる、食品・医薬品関連工場での使用に適している。

・省エネルギー。薄型設計で安全性も考慮した。

また「シユースクリーナー」は、特殊回転ブラシ機構を採用し、靴底に付着した泥、ゴミなどの異物を歩く間に除去する装置。湿式のため静電気の発生がなく安全。同社の主力商品「グリーンルームダスター」は、ホコリを嫌う工場の入り口などに使用され、納入実績は拡大中だ。

パイオニア風力機

パイオニア風力機は、ラインエアシフトシステム、幅広い業種で好評を得ており、食品業界にも最適な製品だ。中でも設置が容易な「エア吸着マット」は、靴底や車輪に付着した汚れをラブリングブラシとエア吸引により、瞬時に除去する高性能安閑マット。人や台車が通る時だけスイッチが入り、踏んだ部分だけ吸

独自のエア技術でクリーンな環境づくりに貢献します

エア吸着マット PAT製品 クリーンルームダスター PAT製品

株式会社 パイオニア風力機

本社・工場 〒458-0847 名古屋市長区浦里3-25 ☎(052) 892-6855(代) FAX(052) 892-8803 関東営業本部/九州営業所・九州工場/東北仙台営業所 URL/http://www.paionia.co.jp/

愛知ブランド企業認定 愛知県 認定番号 508 2012年4月1日～2015年3月31日

有力企業の技術と製品 (順不同)

菌が付着する恐れもあり、これらのトラブルの種類を減らすためにも、食品加工機械は早め早めに設備を更新する傾向が強い。コストがかかっても安全には代えられないというのが、食品メーカーの一般的な考えである。また、食品メーカーは設備更新の際、機能の強化や、さらなる効率化を図ることが多く、新製品への感心が高い。顧客のニーズに対応していくうちに、必然的にカテゴリーは拡大中だ。

日本の食品産業の安全性は高いレベルにあるが、近年、食品関連の事件は少なからず起きています。いま一度、安全や衛生に対する認識を高める必要がある。日本の食品の安全性は、諸外国から高く評価されており、大きなセールスポイントである。この評価をさらに高めるためにも、製造設備や関連機器メーカーは、高性能で高効率な設備を開発することが重要だ。

も解決した。また、国際規格IECのIE3クラスに準拠しており、2015年4月から始まるモーターの規制(トップランナー規制)にも対応。